



数秒の遅延も許されない プロの興行を支える ジャイアンツタウンスタジアムの WAVE PTX無線機TLK 100

2025年3月に開業した「ジャイアンツタウンスタジアム」は、プロ野球チーム 読売ジャイアンツの新しいファーム本拠地です。東京都稲城市で建設が進むスポーツとエンターテインメントの融合施設「東京ジャイアンツタウン」の中核となる存在で、2027年のグランドオープンに先駆けて利用が開始されました。従来のスタジアムとは大きく異なるという狙いについて、スタジアムを含むタウン全体の運営を担当する株式会社よみうりランド 取締役 ボールパーク事業・東京ジャイアンツタウン担当 兼 東京ジャイアンツタウン・マネジメントカンパニー社長の長谷川 聖治氏が次のように語ります。

「ジャイアンツタウンスタジアムは、読売ジャイアンツの新しいファーム本拠地でありつつも、アマチュア野球をはじめ子供向けのスポーツ教室や夏祭り、マルシェを実施するなど、地域社会への開放を積極的に行っています。それは、単なるプロ野球の練習施設という枠組みを超え、地域社会と連携した新たな賑わいの拠点になりたいと考えているからです。成長を意味する『GROWING』に『GOOD』を掛け合わせた『GROWINGGOOD!』をコンセプトに、選手だけでなく地域の子どもたちも共に良き成長ができる、そんな地域密着型の多目的施設を目指しています」

広大な敷地全体で信頼性の高い明瞭な通信を実現するためにモトローラ・ソリューションズのWAVE PTXブロードバンド無線機TLK 100を採用しました。



カスタマー

株式会社よみうりランド

パートナー

株式会社オンザウェイ

OntheWay

業種

ボールパーク事業

ソリューション

- WAVE PTX TLK 100



デジタル無線機からIP無線機へ緊急乗り換えを敢行

現在、ジャイアンツタウンスタジアムでは、モトローラ・ソリューションズのTLK 100をフル活用中。施設の運営を円滑に進行させるために不可欠なツールになっているとのこと。しかし、その導入は2025年6月から、同年3月の開業当初は別の無線機を使用していたと、スタジアムの開業準備を担当した同社 ボールパーク事業部 法人営業推進課長 安藤 陽平氏は当時を振り返ります。

「ジャイアンツタウンスタジアムは開業当初、一般的なデジタル無線機を使用していましたが、運用を開始してすぐ深刻な課題に直面しました。ぶ厚いコンクリート壁に囲まれた複雑な構造上、指示の拠点となる3階の放送室と、1階にある事務局やグラウンドとの間で通信が不安定になり、声が途切れたり全く繋がらなかったりする事態がたびたび発生しました。プロ野球興行においては、テレビ中継の開始時間に影響が出るため、始球式やイベントの合図が遅れることはわずかな時間でも許されません。現場からは、確実にかつオンタイムで連絡が取れる環境を求める切実な声が上がりました」(安藤氏)

この問題を早急に解決すべく、ジャイアンツタウンスタジアムはデジタル無線機に代わる新たな通信手段を模索し、携帯電話回線を利用するブロードバンド(IP)無線機であるTLK 100への切り替えを決意しました。IP無線機はその特性上、デジタル無線機よりも建物による遮蔽に強く、携帯電話ネットワーク圏内であれば、距離の制約を受けないという特性を持ちます。さらに、1kmほど離れた場所にあるもう一つの野球場と対応が分かれる場面もあり、そうした際においても有効な連絡手段として活用することができるようにもなりました。まさにスタジアムのニーズにぴったりの選択肢でした。

「こうした利点は大規模通信障害が発生した際には使えなくなってしまうリスクと表裏一体ですが、それ以上に今後、施設が増える東京ジャイアンツタウン全体の広大なエリアを確実にカバーできるメリットが大きいと判断しました。そのため、このタイミングで無線機の台数を数十台上乗せした

80台体制とし、スタジアム外で活動する駐車場管理、シャトルバス運営、交通整理チームに加え、これまで別の無線機を利用していた警備チームにもTLK 100を提供することで、連絡手段の統一も実現しています」(安藤氏)

いつでもどこでもクリアで安定した音声通話が可能に

TLK 100の導入後、スタジアム内のコミュニケーションは劇的に改善しました。試合・イベント時にはTLK 100を片手にスタジアム内外を飛び回っているという同社ボールパーク事業部 運営課の井上 未遥氏は、「とにかく音声クリアなことに感動しました。他の無線機の使用経験があるスタッフたちからも、こっちの方が断然良いと好評です」と、その通信品質を高く評価。井上氏と同じ運営課のメンバーである妹尾 豪大氏もTLK 100の導入によって現場の課題が解決されたと言います。

「従来のデジタル無線機では、電波が不安定でつながらないエリアがあり、試合やイベント時にスタッフ間の情報共有がしにくい課題がありました。その点、TLK 100はどこでも安定した通信が可能で、課題解決によりお客様に対しても、質の高いサービスを提供できるようになったと感じています」(妹尾氏)

TLK 100導入のメリットはIP無線機ならではの優れた通話安定性、音声品質だけではなく、わずか約170gの軽量ボディをはじめとする高機能・多機能も、多忙なスタジアムスタッフを支えています。

「スタジアム内を走り回ることも多いので、無線機を身に着けていることを忘れてしまうほどの軽さは本当にありがたいですね。アンテナが短くなったおかげでしゃがんだり振り返ったりした時に引っ掛けて落としてしまうといったこともなくなりました。実はそれでも一度、落としてしまったことがあるのですが、TLK 100は頑丈で問題なく使い続けられています。しっかりした防水性能が備わっているおかげで、雨天でも故障を気にせず業務に集中できる点も気に入っています」(井上氏)

“

「東京ジャイアンツタウンは、2027年のグランドオープンに向けて、水族館・飲食・商業施設など、さまざまな施設が整備されていきます。それによって今後は野球観戦以外の目的でも多くの人々にお越しいただくことになるでしょう。当然、その時にはスタジアムから周辺施設、駐車場まで、一体となった円滑な管理・運営が求められます。その点でもTLK 100の通話品質や通信安定性、通話可能なエリアの広さは必要不可欠だと感じています」

株式会社よみうりランド 取締役 ボールパーク事業・東京ジャイアンツタウン担当 兼 東京ジャイアンツタウン・マネジメントカンパニー社長 長谷川 聖治 氏



「細かなところではイヤホンを業務に合わせて付け替えられることも好評です。基本的には耳掛けタイプを使っているのですが、客席近くはBGMも大きく、聴き取りづらいケースもあります。周囲の音が大きな場所では耳栓タイプを選ぶことで指示をしっかりと聞き取れるようにもできます。日によってスタッフが頻繁に入れ替わる警備担当チームからは、イヤホンが交換しやすいことが衛生面に貢献しているという声も上がってきています」(安藤氏)

試合・イベントを安定運営するには TLK 100のようなツールが必要

優れた通話品質によって、安定したスタジアム運営を支援するTLK 100は、当初想定していた「クリアな音声で、安定した通話をしたい」というニーズを越え、新たな価値も生み出しつつあります。

「デジタル無線機と異なり、利用エリアに事実上制限がないのはIP無線ならではのメリットです。球場から離れた本社ビルや最寄りの京王よみうりランド駅近くのシャトルバス停留所においても通話できるようになったことで、TLK 100活用の幅は確実に広がっています。理論的には沖縄のキャンプ地とも会話できますからね」(長谷川氏)

現場を統括する安藤氏はこうした遠隔地との通話について、本格的な運用はこれからと前置きしつつ、実はすでに2度ほど実際の業務でTLK 100が活躍した事例があると、その取り組みを紹介していただきました。

「ひとつは2025年5月に行われた府中市民球場でのイースタン戦興行です。ジャイアンツタウンスタジアムの仕事もあるため、運営チームを二手に分けることになったのですが、当時まだテスト運用中だったTLK 100が約7km離れた球場をリアルタイムに繋いでくれたおかげで、安心感を持って業務にあたることができました。この試合ではジャイアンツタウンスタジアムの方に救急車を要請する案件が発生したのですが、TLK 100を用いて府中にいた役職者を速やかにスタジアムの応援に向かわせることができました。その後、7月には新旧スタジアムで同時試合をする機会があり、ここでもTLK 100が2つの会場を繋いでくれました」(安藤氏)

同日に2つのイベントを受け持つと、当然リスクも2倍になるが、離れた会場においても、TLK 100を通じて別会場の状況を把握できたのは、リスクヘッジの観点で大きな成果だったと語る安藤氏。イベントを安全に事故なく終了させたい管理責任者にとって、TLK 100のようなIP無線機が大きな助けになるだろうと語ります。

「TLK 100の導入によって、正確な情報伝達が実現しました。イベント進行の遅延がなくなったことで、やっと『できて当たり前環境が整った』と感じています。東京ジャイアンツタウンのさらなる発展に向けて、モトローラ・ソリューションズには、今後も私たちの業務を効率化してくれる無線機の提供を期待しております」(長谷川氏)



TLK 100の効果

- ・ プロ野球興行に求められるオンタイム連携を実現する、明瞭で安定した通話品質
- ・ 広大な東京ジャイアンツタウン全体を確実にカバーできる広大な通信エリア
- ・ 堅牢かつ取り回ししやすい軽量コンパクトボディ。防水対応で雨天でも安心
- ・ 耳掛けタイプから耳栓タイプまで用途・状況に応じた豊富なアクセサリ



株式会社オンザウェイ

<https://ontheway.co.jp/>

OntheWay

株式会社オンザウェイ

「チームワークをサポートする」をコンセプトに現場のスムーズな情報共有を提案。

エンターテインメント/スポーツ/国際会議/式典などの様々なイベントから、交通機関の通信インフラ・介護福祉施設・学校や公共の施設まで、無線機での迅速で安定したコミュニケーションでお客様をサポートする会社です。

過去に2019年ワールドカップや、2021年東京都で開催された国際的なスポーツイベントなど、大規模な国際スポーツイベントに無線機をレンタル。6万件以上の実績を持ち、それぞれのシーンに最適な商品をご提案します。